

「第8回インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム」開催のご案内

インフラ・ライフライン減災対策に関わる最新の研究動向や実務における取り組み事例等を、研究、開発、設計、施工に従事する研究者・技術者、事業者および自治体職員等の間で広く情報共有をはかることを目的として、標記シンポジウムを開催することといたしましたので、ふるってご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

記

1. 主催-----土木学会・地震工学委員会 ライフラインに係わる都市減災対策技術の高度化に関する研究小委員会
(委員長：鈴木崇伸・東洋大学教授)
共催-----土木学会関東支部新潟会
2. 日時-----2018年1月19日(金) 9:25~17:00
3. 場所-----新潟大学駅南キャンパスときめいと
4. 費用-----6,000円(シンポジウム論文集1部購入につき)
5. 問合先-----土木学会事務局 研究事業課 ライフラインシンポ担当 TEL:03-3355-3559
6. プログラム(発表8分、質疑応答3分)
9:25- : 開会の挨拶 鈴木崇伸 委員長
9:30-10:36 : セッション1 座長：丸山喜久
鈴木崇伸 震源地域で観測されるキラパルスに関する一考察
山本鐘太 エネルギー関連・長周期構造物に作用する地震波の推定
草開俊介 AVS30の推定に向けたH/Vスペクトル比の機械学習の利用に関する基礎検討
井上和真 水平2方向地震動の軌跡特性が土柱モデルの非線形応答に及ぼす影響
平野晴也 航空機 Pi-SAR-X2 画像を用いた橋梁被害の目視判読
党紀 自動点検に向ける UAV 橋梁撮影と深層学習を用いた損傷検知
10:45-12:02 : セッション2 座長：小野祐輔
宮崎駿太郎 UAV 空撮画像を用いた被災地の3次元モデル構築による被害把握と評価
タンティンシェン 航空機 Pi-SAR-X2 画像による2016年熊本地震の建物後方散乱特性に関する基礎的検討
佐藤貴亮 浸透流の作用による強度特性変化およびX線CTスキャンによる細粒分移動の可視化
須藤巧哉 2016年熊本地震における益城町の建物被害分析
市川恭平 バネ下加速度を用いたIRI推定のための基礎検討
猿渡基樹 光ファイバ線路監視を活用した道路被災把握の可能性
原田あすか 大規模災害時におけるSNSを活用した道路情報の収集・管理に関する一考察
13:00-14:00 : 基調講演 座長：鈴木崇伸
小林将志(JR東日本) 震災からの復旧と地震対策
浅井誠二(北陸地方整備局) 広域災害への対応
14:00-15:06 : セッション3 座長：鎌田泰子
猪股涉 地形影響を考慮した低圧ガス導管の地震被害分析
片岡正次郎 ETC2.0プローブ情報を活用した熊本地震時の道路通行可否判断の評価
今長信浩 大規模地震時の道路啓開に関する一考察
宮腰寛之 JR東日本の新幹線における海底地震計情報を活用した早期地震検知
中村雅志 橋梁に作用する津波力の評価に対するSPH法解析の妥当性の検討
Muge KULELI Rubber bearing stiffness identification based on earthquake response measurement
15:20-16:48 : セッション4 座長：永田茂
金次良 既設硬質ビニル管の耐震性評価に用いる接着継手の解析モデル設定の基礎検討
寺嶋幹裕 通信用橋梁系設備の既往地震被害
鎌田泰子 熊本地震における益城町の水道管路被害とその要因に関する分析
西川源太郎 水道配水用ポリエチレン管の耐震性評価に関する研究
金子正吾 耐震型ダクタイル鉄管を用いた断層横断部の配管設計方法の研究
畠山大治 下水道埋設管路の地震被害データに対する統一的な整理と分析
島田晃司 金沢市の漏水データを用いた水道管路の更新順位に関する基礎的検討
北野哲司 STREAM工法(非開削入替工法)の開発
16:48- : 閉会の挨拶 片岡正次郎 副委員長